



本誌は、県民の皆様には山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、
当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。

>> 第5回子どもの読書活動推進スキルアップ講座 (子どもと読書活動をつなぐ・連続講座)を開催しました。

2月13日(金)に「アニメーションでつなぐ」と題して、関西大学初等部ライブラリー司書の向井ひろこ氏を講師に、ワークショップを実施しました。図書館司書や学校司書、保育士など62名の参加がありました。

「読書へのアニメーション」はスペインのモンセラ・サルト氏が、子どもたちに読書の楽しさを伝え、子どもが生まれながらに持っている「読む力」を引き出そうと開発・体系化した読書指導メソッドです。

今回は、始めにアニメーションの特徴や進め方、実践のポイントなどについて講義いただきました。その後、実際にワークショップの中で4つの作戦を体験し、読書をゲームや遊びとして楽しみながら、読解力・表現力・コミュニケーション力を育てる方法を学びました。

参加者からは、「わかりやすく、楽しかった。」「早速学校でやってみたい。」等の感想が寄せられ、大変好評をいただきました。

【ワークショップ実践例の紹介】

—絵本『ライオンのしごと』を使用したアニメーション—

- ①参加者は円になって座り、講師による絵本の読み聞かせを聞きます。
- ②絵本の中から1～3つの文のまとまりを抜き出したカードを、講師が参加者全員に配ります。
- ③参加者はそれぞれ自分のカードの文章が、どの場面の文章かを考えます。
- ④始めの一人が自分のカードの文章を読みます。そして、次の人が自分のカードの文章を読み上げ、その文章が前の人の前か後か、どこに入るのかを考えて、席を入れ替えます。この時点では周りの人と相談せずに、自分一人で考えます。
- ⑤続けて順番に、次の人が自分のカードの文章を読み、席の入れ替えをくり返し、ばらばらになった物語を組み立てていきます。
- ⑥全員が文章を読み上げて、席を移動した後、最初の人から座っている順番でカードの文章を読みます。
- ⑦順番の間違いに気づいたら、参加者同士が話し合っ
て正しい位置に席を移動します。
- ⑧その後で、もう一度講師が絵本を読み、正しい順番を確かめます。

このアニメーションの作戦は、話し合っ
て問題を解決し、論理的に構成できる力を育てる作戦として紹介されました。

使用した絵本:『ライオンのしごと』竹田津実/作、
あべ弘士/絵、偕成社、2004年



▲アニメーション実践のポイントを話す講師



▲⑦参加者が正しい順番を話し合っている様子

>>平成26年度児童青少年サービス実施状況調査報告を公開しました

山梨県内の児童青少年サービスの充実を目指し、毎年、県内公共図書館を対象にした「児童青少年サービス実施状況調査」を実施しています。

平成26年度は調査項目を見直し、県内公共図書館の児童青少年サービスの実施状況の把握と情報の共有を図るため、「子どもの読書活動推進実施計画策定状況」「子どもに本を紹介する取組の実施状況」「他の図書館・機関等で開催する児童青少年サービス担当者向け専門研修への参加状況」を新たに追加しました。

子どもへの直接サービスにおいては子どもと本を結びつける手法として、様々な取り組みが実践されていますが、「子どもに本を紹介する取組の実施状況」では、読み聞かせや紙芝居等と比べ、ストーリーテリングやブックトーク、アニメーションを実施しているところはまだ少なく、また、新しい取組であるビブリオバトルを実施しているところはありませんでした。また、「他の図書館・機関等で開催する児童青少年サービス担当者向け専門研修への参加状況」では、約3分の1の図書館が研修で得た知識をフィードバックするかたちで職員に実践しており、保護者への読書啓発活動など職員以外を対象にした取組を実施しているところもありました。

調査項目と調査結果の詳細は、ホームページに掲載していますのでご覧ください。

■平成26年度調査結果（平成26年6月実施）

http://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/shien_info2.html

>>実技ガイド「ブックトーク 実践のコツ&本の選び方」

このたび、子どもの読書活動の実践に役立つガイドブックとして、「ブックトーク 実践のコツ&本の選び方」を作成しました。

ブックトークは、読み聞かせから一歩前進し、自ら読書する子どもを育てる方法として注目され、学校や公立図書館などで実践されています。

この冊子は、学校や公共図書館などで集団を対象にこれからブックトークをやってみたいと考えている方に向けたガイドブックです。できるだけ実践に結び付くよう、テーマ選びのヒントや本を選ぶ際のポイントを写真入りの事例で説明し、ブックトーク全体の構成や本の紹介方法、シナリオの作成方法について紹介しました。

さらに、本番での注意事項、振り返りについても触れ、シナリオ事例も掲載し、ブックトークの経験がない方でも実践できるよう努めました。

また、最後に、テーマ探しや本選び、シナリオ作成などの実践に役立つ本、学校での実践事例を掲載した本などの参考図書を掲載しましたので、こちらも参考にしてください。この機会にぜひブックトークに取り組んでみませんか？

なお、「ブックトーク 実践のコツ&本の選び方」、及び前回作成した「読み聞かせ 実践のコツ&絵本の選び方」は児童資料コーナーで配布しています。また、ホームページからもご覧いただけますので、ぜひご活用ください。

■「ブックトーク」 <http://www.lib.pref.yamanashi.jp/jitugigaido%20booktalk.pdf>

■「読み聞かせ」 http://www.lib.pref.yamanashi.jp/H25guide_yomikikase.pdf

その他の発行物等も同様に児童資料コーナーで配布、及びホームページ上で紹介していますのでご覧ください。

